

がん相談の空白地域にどう関わるか

～ ニーズ調査を通して見えてきた課題 ～



一般財団法人 竹田健康財団
竹田総合病院医療社会福祉課
MSW 佐藤 好治

ニーズ調査に至った経過

「空白地域に対して、がん相談員がどのように取り組んでいくかを検討していくにあたり、まずはその地域のニーズがどの位あるのかを知る必要があるのではないか？」

がん相談支援部会で以上の意見がまとまりニーズ調査を実施することになる。



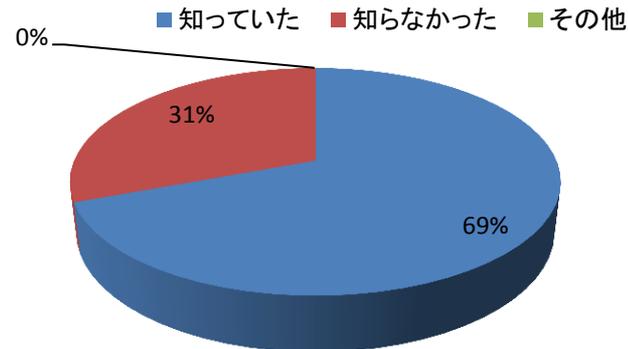
拠点病院まで遠距離、アクセスが悪いなどがん相談が受け難いと思われる二次医療圏(相双・会津・南会津地域)の病院及び診療所、市町村(保健師)、保健福祉事務所、訪問看護ステーション計36ヶ所に対しアンケート調査を実施した(2014.6)



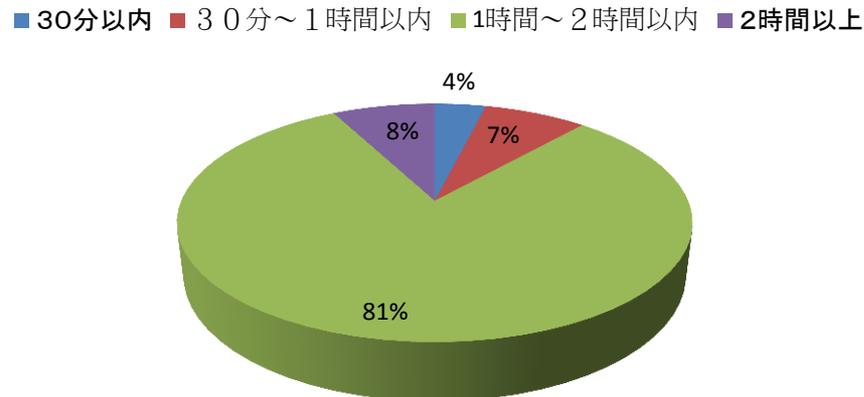
調査内容と結果

回答率 **77.7%** (36ヶ所中 28ヶ所の回答)

1. がん診療連携拠点・推進病院(以下拠点病院)にがん相談支援センターがあることを知っていましたか？



2. 貴機関から、一番近い拠点病院まで自家用車でどのくらいの時間がかかりますか？

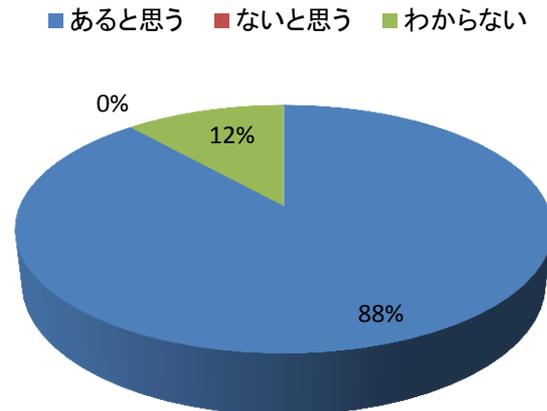


調査内容と結果

3. 患者さんが拠点病院のがん相談を受けたいが、受けにくい理由があるとしたら「遠距離」の他に何が挙げられますか。

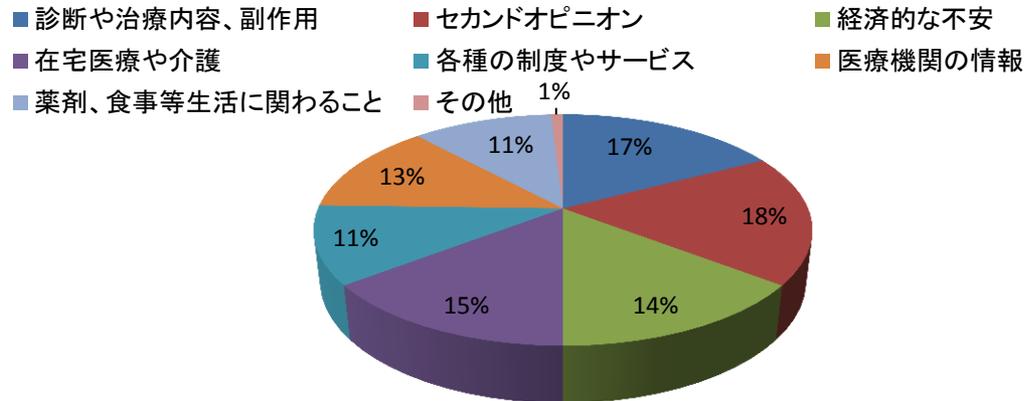
- ・交通手段がない、送ってくれる人もいない
- ・予約を取るのか？良くわからない
- ・プライバシーは守られるか
- ・拠点病院がかかりつけ医でないのかかりつけ医に申し訳ないか 等
- ・活動内容や利用方法、手順がわからない
- ・どんな相談ができるか？
- ・地域住民に周知されていない

4. もしも、がん相談の窓口が貴機関の近隣にあった場合、患者様や利用者様が相談したいというニーズはあると思いますか。



調査内容と結果

5. 4で「あると思う」にチェックされた方は、どのような相談のニーズがあると思いますか。

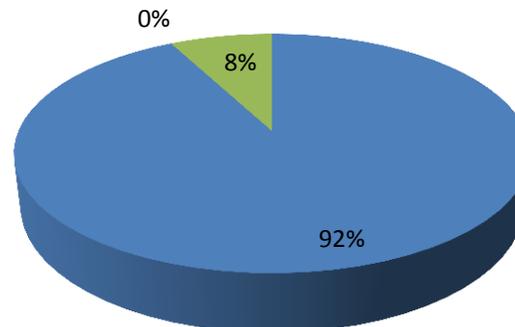


6. 4で「ないと思う」、「わからない」にチェックされた方は、なぜそのように思われますか。

- ・自分の所にがん患者はいない
- ・ニーズの有無を住民に聞いていない

7. 今後拠点病院のがん相談支援センターとのネットワークが必要だと思いませんか

■ 必要だと思う ■ 必要だと思わない ■ わからない



その他の意見

- ピアサポーター、患者会など交流の場の充実
- 相談支援体制の充実
- 在宅療養の方が増えており情報共有と連携が必要
- 医療機関相互、市町村保健師とがん相談支援センターとの連携
- 開業医等の窓口気軽に手にとれるパンフレットがあると良い
- 拠点病院から一般病院への情報発信することで患者、家族への情報が届きやすくなる
- がん相談の巡回相談があると良い
- 相馬は地理的に宮城県と連携することが多いので近隣県とのネットワーク作りが必要

考察・今後の課題

- がん相談のニーズは確実にある。
- 一方でがん相談支援センターが未だに周知されていない現状も理解できた。
- 関係機関はがん相談支援センターとのネットワークの必要性を感じている。



距離やアクセスの問題を視野に入れながら、どのような形でニーズに応えていくかを今後がん相談支援部会で具体的に検討していく必要がある。

ご清聴ありがとうございました

